

令和元年度 国立大雪青少年交流の家 教育事業

先生！山につれてって！

指導者研修会

大自然の魅力 子どもたちに！

7/6(土)~7(日)

◆開催場所 国立大雪青少年交流の家
(上川郡美瑛町白金温泉 ☎ 0166-94-3121)

◆定員 20名 (先着順)

◆参加費 2,070円

講師
日下 哉 氏 (北海道教育大学岩見沢校アウトドアライフ専攻非常勤講師)
森山 知洋 氏 (気象予報士、北海道防災教育アドバイザー、HBC気象キャスター)




○令和元年度教育事業

「集団登山 指導者研修会」
(R1.7.6(土)~7.7(日))

◆目的
青少年の集団登山の教育的価値に関する理解を深め、活火山対応を含む安全な指導についての基本的な知識を身につける。

◆参加実績 (募集 20名)

参加 10名

・小学校教諭	3名
・中学校教諭	1名
・教育委員会職員	1名
・学校事務職員	1名
・保健所職員	1名
・アウトドアセンター職員	1名
・会社員	2名
・無職 (講師の知人)	1名

 **国立大雪青少年交流の家**

国立大雪青少年交流の家は、ESD (持続可能な開発のための教育) の地域活動拠点に登録しています。



◆プログラム

- ① 講義「山の天気・活火山の魅力」・・・ (90分)
気象予報士、北海道防災教育アドバイザー 森山 知洋 氏
・標高の高い山特有の気象変化、人体に受ける影響などについて関連する資料を使ったり、実験も交えたりしながら解説を受け、あらゆる方法を用いて最新の情報を集めて、天候を予測することの大切さを学んだ。
- ② 講義「集団登山の魅力・効果、引率者に求められる技能」・・・ (150分)
北海道教育大学岩見沢校非常勤講師 日下 哉 氏
・登山の魅力や指導者として参加者の体調や経験値、登山道の特徴などから、最適なアドバイスや判断をすることの大切さを学んだ。
- ③ 講義「登山の準備、山歩きのコツ」・・・ (75分)
北海道教育大学岩見沢校非常勤講師 日下 哉 氏
・山特有の気象現象や、適切な判断のために必要な知識について学び、危険を回避するために情報を活用する意識を高めた。



④ 講義「集団登山の実際」・・・(180分)

岩見沢教育大学 非常勤講師 日下 哉 氏

- ・十勝岳にて、実際の集団登山を体験した。歩くペースや休憩の摂り方、雪渓の歩き方など、集団を引率することを想定しながら、安全に登山活動を行うためのスキルを学ぶことができた。

◆成果

- ① 講師の永年の指導経験に基づいた講義内容によって、集団登山の意義や魅力への認識を深めた。
- ② 自然環境下での活動に必要な、気象変化への対応、事前準備や予測判断の重要性について理解した。
- ③ 演習の登山は天気に恵まれ、指導者目線での演習を行うことができた。

◆参加者の声

- ・リスク管理を中心にバランスのとれた内容でした。
- ・講義から実技まで大変満足のいく内容でした。
- ・座学が即実践につながることも多かったです。
- ・事前準備の講習内容が良かった。
- ・何となく知っていたことを、分かりやすく解説していただいた。仕事にも生かせることがたくさんありました。
- ・普段、一人で登っているの、集団での留意事項等、経験をまじえて講義していただき、ためになりました。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・学校教員などの指導者がもつ登山指導の不安を解消し、登山プログラムの普及を図る狙いで、事業を実施。
- ・1次案内（登山事業3つ）に加えて、2次案内（集団登山用）も送付したが、参加者が定員に満たなかったため、秀岳荘を通しての広報や、送迎バスの運行などの工夫を検討する必要がある。

◆事業運営費	合計	523,268 円
講師謝金・旅費		113,675 円
チラシ印刷代		106,650 円
チラシ郵送費		141,093 円
消耗品費		2,228 円
燃料費		3,136 円
消耗品費（貸出装備品等）		156,486 円

